

MABI PAPERは高校生目線
で若者の明るい話題
を提供し、1日も早い
復興を願います

MABI PAPER

TAKE FREE

発行#おかやまJKnote
〒700-0026 岡山県岡山市
北区奉還町3-1-30 SGSG
info@jknote.work
www.jknote.work

県外高校生のボラ参加 福井県・沖縄県

7月27日(金)、福井県立福井商業高校の3年生生徒5名が倉敷市立蘭小学校に設置された学習支援スペース(運営:次世代スクール協会)でのボランティアに参加しました。蘭小学校の学習支援スペースは、「まなびのひろば」の名前で図書館を利用した「学習ルーム」と空き教室を利用した「談話スペース」で構成されています。学習ルームでは夏休みの宿題を中心に勉強の指導が行われ、談話スペースではトランプなどのカードゲームで遊ぶことができます。福井商業高校の生徒はそれぞれのスペースに分かれて、約10名の小学生利用者といっしょの時間を過ごしました。

ボランティアに参加した小林優花さんは、「被災してストレスがかかっているという暗いイメージでしたが、子ども達はとても明るく元気でテレビでは伝わらない

ことを福井に持ち帰って、伝えたいです。」と話してくれました。このときの様子は、瀬戸内海放送(KSB)ニュースや、毎日新聞福井版で取り上げられました。福井商業高校のみなさんは、今回の体験を8月上旬に名古屋で行われた「ワールドユースミーティング」で発表し、多くの聴衆に知っていただきました。

参加した渋谷美波さんの感想



真備に行く前は現地の様子が全く想像がついていませんでしたが、真備町に着いてみて、実際に被災地を訪れてみて言葉が出ませんでした。私たちの間でも起こりうる事なんだなと思い、防災意識がグッと高まりました。そして今も猛暑のなか被災



学習支援ボラを終えた福井商業高校のみなさん

されている方々、ボランティアの方々の力になりたいと心から思いました。今日私たちが行ったことは、ほんのわずかに過ぎないことですが、これからも私たちが出来る事を探して復興に関わっていきたいです。(福井商業高校3年)

参加した野村泰介さんの感想

福井県の高校生を真備の蘭小学校の学習支援ボランティアに繋げました。友人の会社経営者を通じて福井県出身の坪内知佳さん(萩大島船団丸、株式会社GHIBLI代表)と知り合い、坪内さんの後輩の高校生の力になって欲しいと相談を受けました。

数日後、福井県立福井商業高校の渋谷美波さんから電話があり、彼女の熱い想いに心動かされ、すぐに蘭小学校学習支援を動かしている次世代スクール協会に連絡、7月27日の午前にボランティア受け入れの段取りをしていただきました。福井県高校生組の来岡は前日26日の夕方。#おかや

まJKnote 定例ミーティングの日に参加し、仲間に入ってもらいました。さすが高校生同士、すぐに仲良くなっていました。蘭小学校での様子はKSBのニュースで3分間紹介され、多くの反響をいただきました。この福井と岡山の高校生交流をきっかけに、岡山の高校生と県外の高校生が力を合わせて、復興支援のためのアクションができればいいなと思っています。(一般社団法人SGSG理事長)



沖縄から来た糸村君

7月30日・31日の両日、沖縄県の沖縄尚学高校1年の糸村昌大さんが蘭小学校に入りました。糸村さんは「沖縄でも出来るのであれば、クラス単位、学校単位でも呼びかけたい。」とコメントしました。

#おかやまJKnoteは2018年1月に結成されました。「学校」の枠を越え、「自分のやりたいこと」と「社会のニーズ」を結びつける活動を行う高校生有志の団体です。【JK=ジャスト高校生】ちょうど高校生世代が地域の大人と対等に活動することにより、岡山でインパクトを創出することを目的とし

#おかやまJKnoteとは

ています。8月10日現在28名【参加高校】岡山市立岡山後楽館 岡山県立岡山工業 岡山県立瀬戸南 岡山県立倉敷青陵 岡山県立西大寺 明誠学院 学芸館 金光学園 興誠館
(所在地) 岡山県岡山市北区奉還町3-1-30
(web) www.jknote.work (代表) 光岡歩美(後楽館高3)